

弥生時代と邪馬台国

名前 _____

_____ 月 _____ 日

今日の問い

稲作が広まって社会はどう変わり、どんなクニが生まれたのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 弥生時代になって、くらしはどう変わったか。

稲作・弥生土器・むらからクニへ

大陸から伝わった ¹ 稲作 が広まり、この時代の土器から ² 弥生時代 と呼ばれる。収穫した稲は ³ 高床倉庫 にたくわえられた。むら同士の争いを経て、強いむらが周りをまとめ ⁴ クニ ができていった。

2 中国の歴史書には、日本はどのように記されているか。

漢書・後漢書・魏志倭人伝

倭が100あまりの国に分かれていたと『 ⁵ 漢書 』にあり、57年には ⁶ 奴国 の王が後漢から ⁷ 金印 を授かった。239年には、 ⁸ 邪馬台国 の女王 ⁹ 卑弥呼 が魏に使いを送ったことが『 ¹⁰ 魏志倭人伝 』に記されている。

年表 — この単元のできごと

縄文時代の終わりごろ

稲作が大陸から伝わる

紀元前1世紀ごろ

倭が100あまりの国に分かれていたと漢書に記される

57

倭の奴国の王が後漢から金印を授かる

239

邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを送る

まとめ

今日の問いに答えよう。「稲作」「邪馬台国」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例)稲作が広まると、土地や水をめぐる争いから、強いむらが周りをまとめてクニができた。3世紀には、邪馬台国の女王卑弥呼が30ほどの国々を従え、魏に使いを送った。

☐ 縄文と弥生のちがいを言える☐ 金印を得た国がわかる☐ 卑弥呼がしたことを言えるできた / 10